

谷戸田オーナー 2018年度作業日程(予定)

2018年.5/6~2018年.11/4

お願い 注意

①天候、稲の生育状況により変更することがあります。必ず水曜日の案内メールでご確認ください  
②持ち物には必ず名前を書いてください。履き物の忘れ物が増えています。休憩所では荷物をまとめていただき、不要な荷物は自家用車に保管してください

NPO法人 伊勢原森林里山研究会 info@iif-isehara.com 0463-95-0234

日程	時間	内容
5/6(日)	開耕式 シロカキ 9:00~12:00	4月下旬に日向川の水路を清掃、田んぼに水が入ります。いよいよ米作りがスタートです。この日は稲苗が丈夫に育つように、とろとろの圃場を作るためにシロカキ(代掻き)します。泥汚れ覚悟の服装、着替えをお願いします。(足洗い場あり) 
5/13(日)	田植え 9:00~13:00	 大きな鯉のぼりが泳ぐもとの、田んぼの土に根付くように、指示に従って植えます。機械の入りやすい田んぼは機械植えも行います。東京農大学生の応援も入ります 昼食は山菜おにぎりとお豆ご飯でお祝いです。
自由参加 5/20(日)	補植 田の草とり 9:00~12:30	補植とは活着しなかった稲苗の田植えです。そして、「田の草取り」は、雑草を小さい内に根っこから取り除き、これからの稲の生育を左右します。オーナー活動日ではありませんがやってみてみたい方の体験参加です。(昼食出ます)(1番草)
6/3(日)	田の草とり 9:00~12:00	稲間の雑草を取り、稲の生育を助けます。植物の生育を阻害する除草剤を使わず、完全無農薬栽培を進めているので、田の草取りはガッツが必要です。今年から田車のほかに除草機も導入します。(2番草)  人力 田ぐるま 共立除草機
自由参加 6/17(日)	草刈り 獣害柵周辺 9:00~12:00	 土手、あぜ道の草を刈り、田んぼの日当たを確保します。又、獣害用電柵は周辺の草が触れると効果がなくなり、ニホンジカが柵を飛び越え稲苗を食べてしまいます。自由参加です。(昼食出ます)
虫送りボランティア募集 6/24 7/8 7/15 詳しくは事務局 山口まで		3年目を迎える「虫送り」は他県居住市民からも絶賛を浴びました。日本人の心に深く染み入る行事です。今年では中型松明(たいまつ)を増やし豊年満作を祈るため、3回に分けてボランティアを募集します。地域再生民間助成金を活用し交通費、食費 当日宿泊費の補助を検討します。(内容:真竹伐採 松明づくり 当日のパフォーマンス)
7/15(日)	虫送り 17:00~20:00	絶えてしまった農耕行事「虫送り」が「農のこころ」を求め全国で復活し始めています。大小のたいまつ・竹灯籠が田んぼを色取り、虫を追い払うさまが人々を幽玄の世界に誘います。里山地域の再生を願い、地域子供会・マスコミ・ミニコミ誌に呼びかけます。 
8/12(日)	田の草とり 9:00~12:00	 真夏に成長した稲は田んぼを緑一色に埋めます。最後のヒエ取りです。休憩と水分・塩分補給の熱中症対策が必要です。昔から3番草が終わると体重が2キロ落ちてしまい、フナ・ドジョウ・ウナギでスタミナをつけたと言われます。(3番草)
8/19(日)	谷戸田の 生き物調べ 9:00~12:00	中山間地の田んぼは、高齢化、耕作放棄、水辺環境の劣化により生き物の危機に直面しました。田んぼの復活、無農薬への転換により水生昆虫は21種から44種へと増加しました。21世紀は生き物共生社会への実践が求められます。生き物調べはこれからも続けます。  コイムシ ミヤマアケボノ ミスカマキリ
9/23(日) 9/30(日) (日)雨天の予備	稲刈り 掛け干し 9:00~12:00	 毎年の異常気象と台風で、日程変更が多くなる頃です。刈り取った稲は2週間かけて「かけ干し」します。自然乾燥の工程中にお米が完熟し味がおいしいといわれます。(雨天→9/30)
10/7(日)	脱穀 9:00~12:00	天日干しでおしさの増したお米を「脱穀」します。ここまできればもう一息です。後はライスセンターに持ち込みモミ擦り→玄米が完了。(雨天のとき→10/14または10/21) 
11/4(日)	収穫祭 9:00~13:00	 収穫祭 この日を待ちました。 メニュー予定 同時開催-谷戸田古布アート 新米試食 ミニバザー(手作り食品持ち込みOK) 稲わら、米ぬか(無農薬)お分けします